

多摩川河川敷で花火大会

日 時:2018年8月15日(水) 天候:晴

集 合:JR川崎駅改札大時計の下 14時30分

コース:川崎駅→ラゾーナ広場→御幸公園→多摩川土手→多摩川大橋から大田区→六郷橋から→川崎へ(OKストアで
買い物)→花火終了後現地解散

参加者 青松(L) 熊島(SL) 佐藤伊 平嶋 平石 熊坂 佐藤繁 小林 宮野 市村 平林勝 山本 桑名 奥村 脇坂
吉岡 松野 合計17名

2018年夏、猛暑の日本列島です。7月23日は関東甲信と東海を中心に猛烈な暑さとなり、埼玉県熊谷市で41.1℃を記録、国内観測史上最高気温を5年ぶりに更新しました。台風12号の影響で何日か気温が下がりましたが、8月に入りまた暑さ復活しています。

ウォーキング大好き、花火大好き、暑気払いはもっと大好き？という17人の会員が、川崎駅改札大時計の下に参集しました。

西口へ移動、ミュージア川崎の2階スペースへ。熊坂さんのリードでストレッチ、青松リーダーのコース説明がありました。サブリーダーは熊島さん。14時40分にスタートしました。



東京側から六郷橋を渡り川崎へ、暑気払い気持ち急ぐ人は熊島SL、青松Lの少し前を歩いていますよ～

まずは花火観覧場所を確保～多摩川川崎側土手堤を上流へ

強風です。ラゾーナの広場ではイベントがあるのか大勢の人が列をなしていました。1階の大駐輪場を抜けて堀川町から府中街道へ、右手に東芝ビルがあります。歩道橋を渡り花火の観覧場所の席を確認しに行きました。河川敷一面、席確保のブルーシートだらけです。青松さんが前もって準備していて、場所も確保されていました。しかし、ガムテープが強風のためはがれていて補強再整理作業でしばし時間を要しました。

15時スタート、宮野さんと平林さんは、場所確保のため留守番。川崎側土手堤を上流へ、強風です。川崎側はマンションが並び、日差しを遮ってくれて少し歩きやすかったです。ラジオ日本の送信用アンテナとビルがありました。少し歩くと川崎競馬練習用馬場が見えました。熊島さんの話ですと近くに厩舎があるそうで、それなりの匂いが漂っています。かなり上流へ歩きます。「花火に間に合うように戻って来れるの」と、心配の声も聞こえました。15時45分、多摩川大橋へ。



多摩川大橋を渡り東京都大田区へ～東京側河川敷を下流へ

多摩川大橋を渡り東京都大田区へ。土手堤は強風で草がなびいています。河川敷へ下りて下流へ、ここは昨年の「多摩川を歩く①」で歩いた逆コース。「あの日も暑かった」と、あっという間の1年を感じながら歩きました。こちらは日差しを遮るものなくまともに受けました。

花火の正式名称、「大田区平和都市宣言記念事業第31回花火の祭典」と書かれた看板がありました。花火を打ち上げる大田区側には舞台があり、その向こうに川崎のビル群が林立しています。広大な河川敷には多くの人が詰めかけ、花火の打ち上げを待っています。すでにプログラムが進行しているのか、スピーカーから司会者の声が聞こえました。大会運営委員の人たちが綿密な打ち合わせ、警備員の人達も大勢待機しています。川崎側は観覧するだけ、気持ちは「お疲れさまです。ありがとうございます」。

京浜急行線高架下の日陰で水分補給。六郷橋へ向かいます。太陽も大分傾き、影が長くなっています。



ウォーキング&花火&暑気払い 2018年暑い夏を楽しみました！

16時40分、六郷橋を渡り川崎へ。OKストアでつまみなど購入、ビールは冷えたのがないので隣のセブンイレブンで購入しました。17時過ぎに観覧場所へ、宮野さんと平林さんが新しいブルーシートを敷いて待っていてくれました。私の歩数計は13438歩、かなり歩きましたね。

ビールなどの飲みもの、ポテト、たこ焼き、お新香などのつまみを手分けして準備。車座になって席に着きました。花火の打ち上げは19時30分ですが、17時30分に青松リーダーの発声で乾杯、ビールが美味しい。まだ明るいですよ～ 暗くなるにつれ、どんどん人が集まってきます。19時30分、すっかり暗くなり花火が打ちあがりました。対岸とはいեսケールの大きい6000発の花火を、音も含めて満喫しました。

ウォーキング&花火&暑気払い、2018年暑い夏を楽しみました！

(いちむら記)

